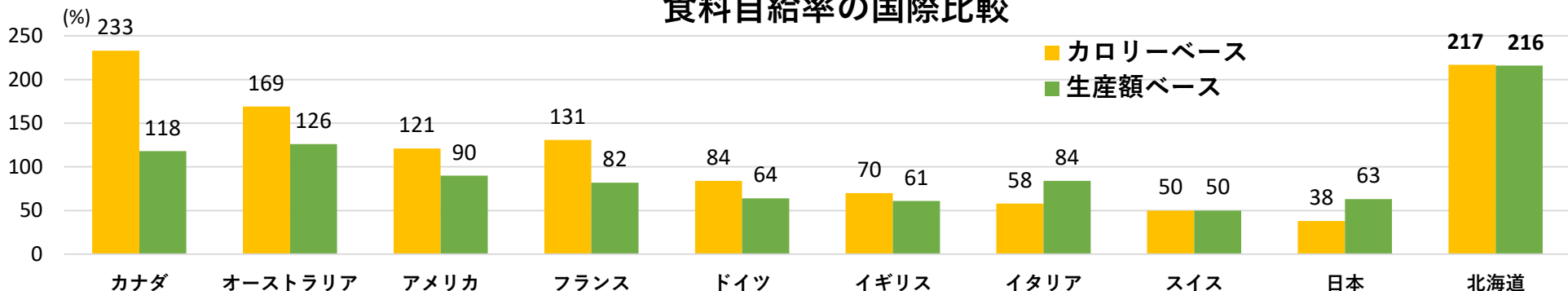


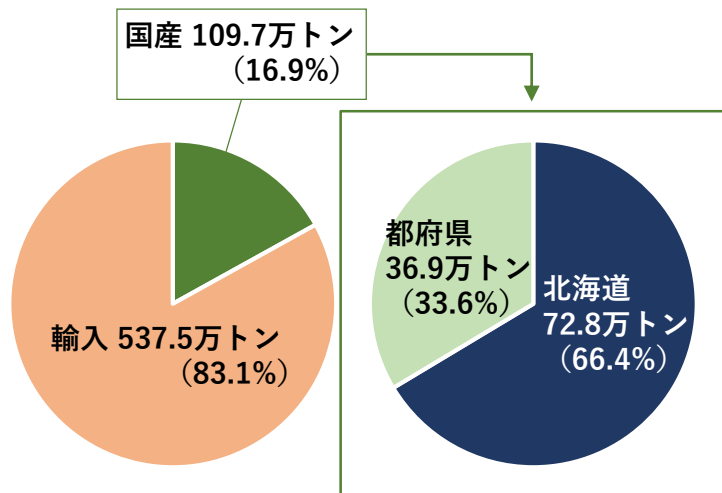
- ウクライナ情勢の影響などにより、我が国の食料安全保障に対する懸念が高まる中、自給力が高く、高品質な食品を生産する本道への期待や役割が増大

## 食料自給率の国際比較

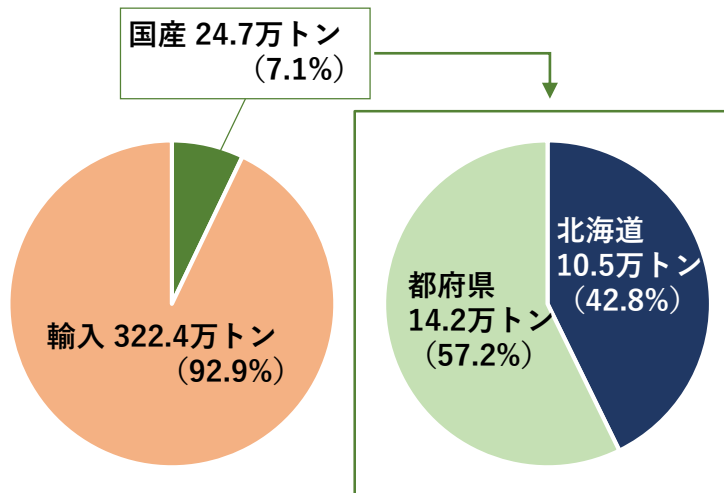
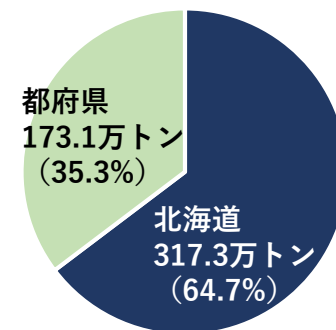


農林水産省HP ([https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu\\_ritu/013.html](https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/013.html)) を参考に北海道作成  
日本は2021年度、北海道は2020年度、その他の国は2019年（暦年）

## 小麦の供給状況 (2021年度)



## 大豆の供給状況 (2021年度)

青刈りとうもろこし  
(飼料作物)の収穫量  
(2021年産)

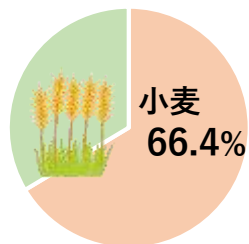
農林水産省「令和3年度食料需給表」、「令和3年産作物統計」を基に北海道作成

- 我が国有数の食料供給地域である北海道は、多くの農畜産物で全国一位の生産量となっている

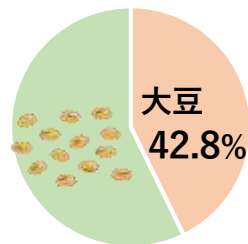
■ 生産量で北海道が全国1位の主な農畜産物 (2021(令和3)年\*)

※ 括弧内は作付面積又は飼養頭数

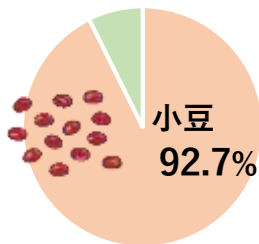
\* 軽種馬は2022年



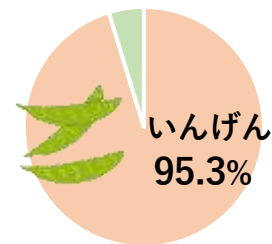
72.8万トン(12.6万ha)



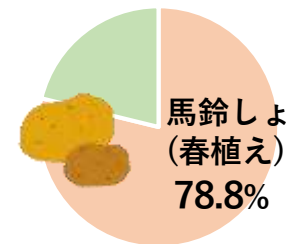
10.5万トン(4.2万ha)



3.9万トン(1.9万ha)



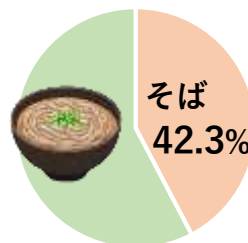
0.7万トン(0.7万ha)



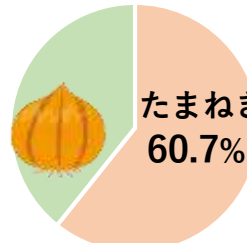
168.6万トン(4.7万ha)



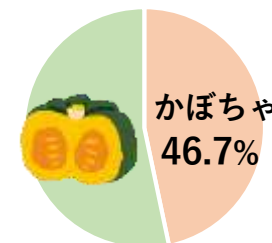
406.1万トン(5.8万ha)



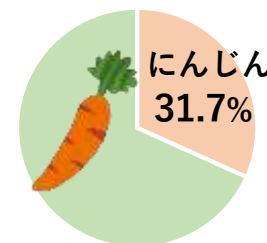
1.7万トン(2.4万ha)



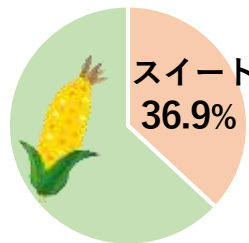
66.6万トン(1.5万ha)



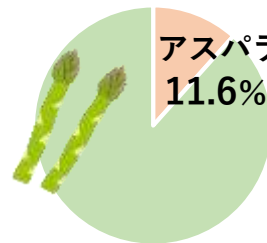
8.1万トン(0.7万ha)



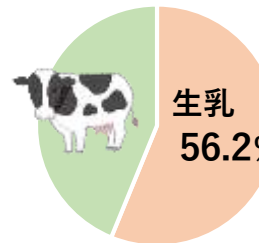
20.2万トン(0.5万ha)



8.1万トン(0.7万ha)



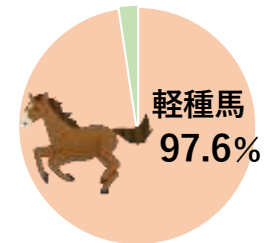
0.3万トン(0.1万ha)



426.6万トン(83.0万頭)



9.5万トン(53.6万頭)



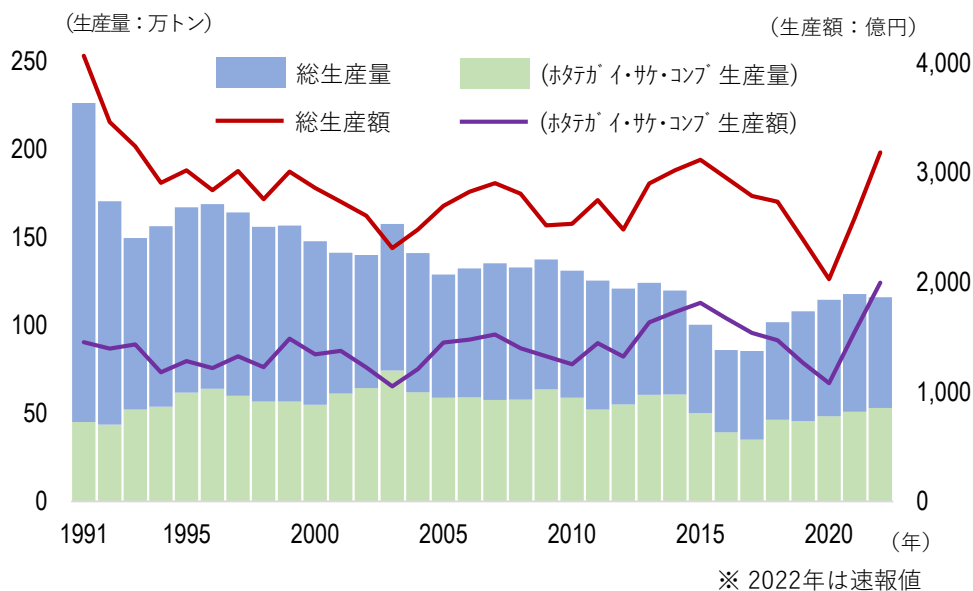
(0.8万頭)

- 北海道の漁業生産量は我が国全体の1/4を占め、量・金額ともに全国一位
- 本道周辺海域の主要魚種の資源水準は、するめいか、さんまなどが低水準

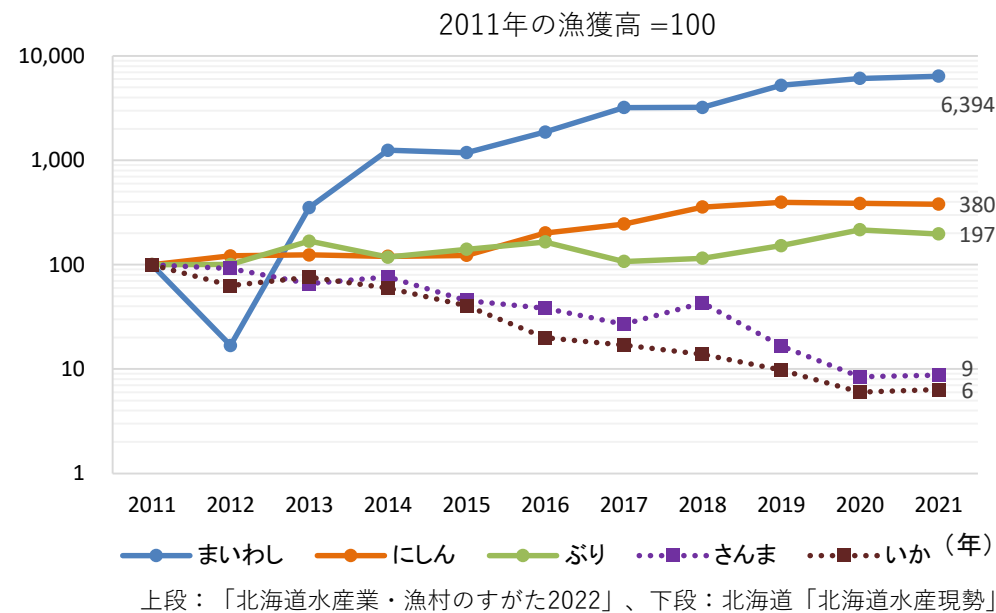
## 北海道水産業の位置

	単位	北海道 (A)	全国 (B)	A/B	備考
漁業経営体数	経営体	10,150	69,560	14.6%	2020
漁業就業者数	人	23,420	135,660	17.3%	2020
海面漁業・養殖業生産量 (属人)	千トン	989	4,183	23.6%	2020
海面漁業・養殖業生産額 (属人)	億円	2,021	12,103	16.7%	2020
水産加工品生産量	千トン	550	3,082	17.8%	2019
水産加工業製造品出荷額	億円	6,413	35,021	18.3%	2019

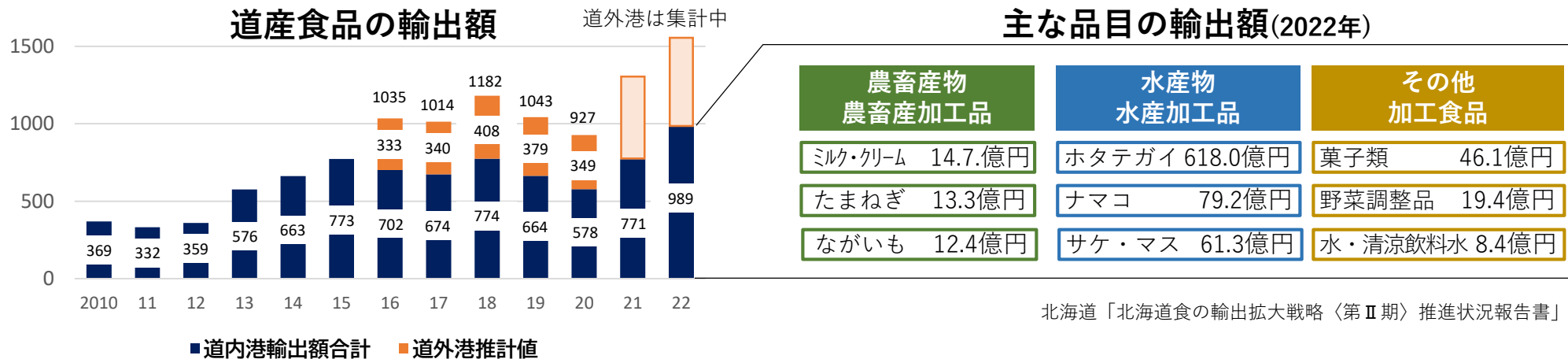
## 北海道における漁業生産の推移 (属地)



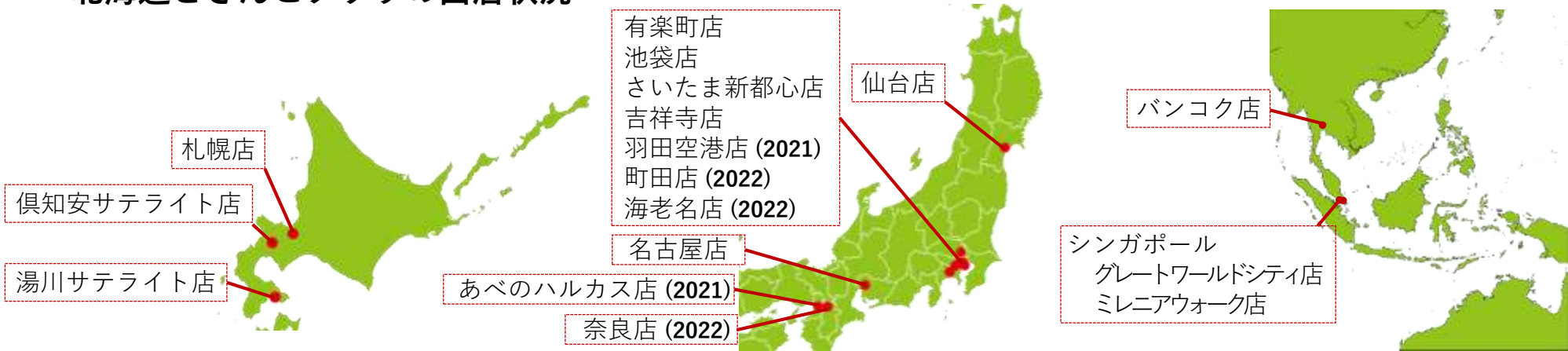
## 資源変動が見られる魚種の生産量の推移



- 道内港からの道産食品の輸出額は989億円(前年比28%増)で過去最大
- 道産品の展示・販売等を通じて道内企業のマーケティング活動の支援を行う北海道どさんこプラザは国内外に17店舗。2022年には関東・関西に新たな店舗を出店

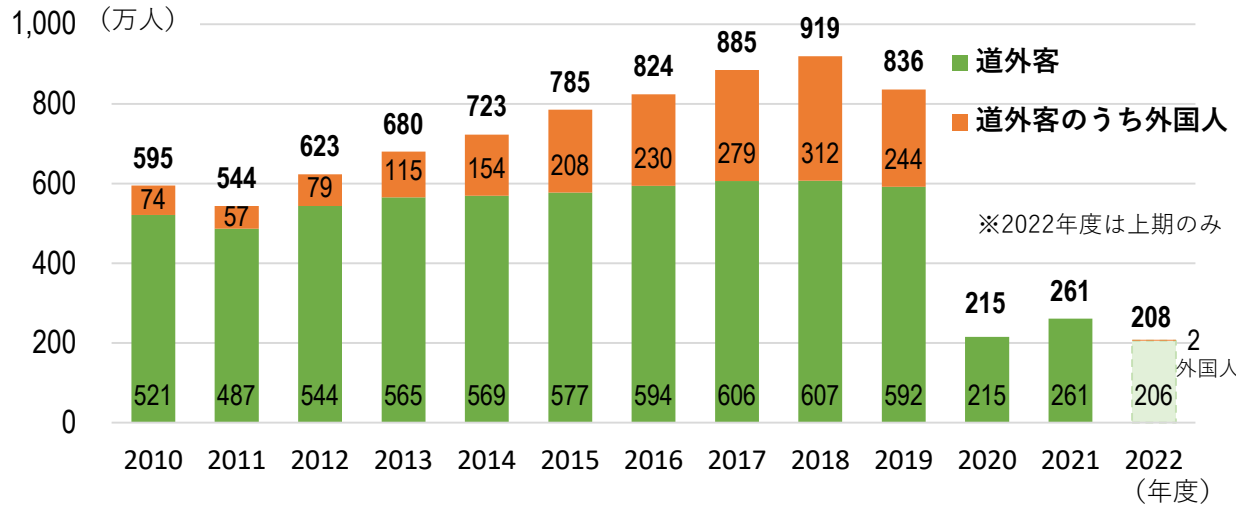


### 北海道どさんこプラザの出店状況

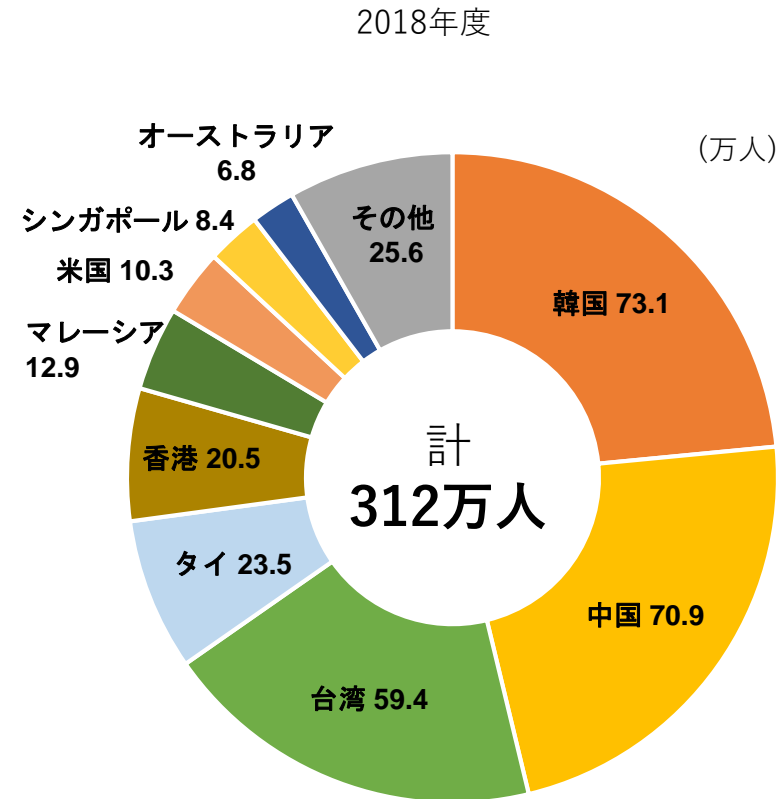


- 本道の価値・優位性を活かし、アドベンチャートラベル(AT)をはじめとする観光の高付加価値化や、多様な旅行ニーズを満たす観光地づくりを推進
- 入国者数の上限撤廃（2022年10月～）に伴うインバンドの回復

北海道の観光入込客数



訪日外国人来道者数の国別内訳



振興局別の宿泊者数 (2018年度) (万人泊)

